

令和8年 第8回

四日市市教育委員会会議案

関係資料

日時 令和8年 7月8日 午前9時00分～

場所 四日市市役所 9階 教育委員会室

令和8年 第8回 教育委員会会議 議事

○報 告

令和8年6月定例月議会の報告について…………… P3／16

○協 議

令和7年度の教育委員会における点検及び評価について …… 別冊①

令和8年度第1回四日市市総合教育会議について …… 別冊②

○報 告

本市におけるいじめ事案について…………… 別途資料配付

令和8年6月議会(本会議)の質問質疑に対する答弁要旨

◎一般質問

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
森 智子 (公明党)	○英語教育のさらなる推進について ①英語教育の現状について、どのように取り組んでいるのか。 ②これまでの英語教育における効果について、英語力や学習意欲の向上にどのように寄与しているのか。 ③ オンラインマンツーマン英会話の導入についての本市の見解はどうか。	(教育長) ①16名のYEF(英語指導員)を配置し、全クラスで週1回以上のオールイングリッシュによる授業を実施している。YEFは休み時間等にも生徒と英語で日常的に交流している。 また、スピーチコンテストやオンライン国際交流活動といった成果を発揮する場も確保している。 ②全中学校で実施しているYEFとの1対1のパフォーマンステストを通じて、生徒に「伝わった」という達成感や前向きな意識の変容が生まれるようにしている。 客観的な成果として、英検IBAを実施している。本市では、中学校卒業段階での英検3級相当以上の割合が文部科学省の目標60%を上回る64.8%を記録している。生徒意識調査でも約90%が「英語を使えるようになりたい」と回答している。 ③現在は、オンラインマンツーマン英会話を実施していないが、一人一台タブレット端末を活かした、デジタル教科書の活用は積極的に進めている。また、本市ではYEFとの対面によるコミュニケーションの充実を優先している。 また、不登校等の生徒へは、ふれあい教室でのYEFとの交流や授業のオンライン配信などを行っている。 今後は、様々な学習方法の可能性を含め、どのような方法が真に有効であるか、研究していく。
伊藤 嗣也 (政友クラブ)	○マネジメントなき無責任な図書館の空調故障 ①市立図書館の空調設備が故障し、多くの行事が中止になっている。利用者と職員の熱中症対策のため、本格的な夏を前に修繕が急務である。この緊急事態をどう乗り越えるのか。 ②耐用年数20年の空調設備を25年も使用していたことが原因ではないのか。新図書館の建設計画がある中で、市は現図書館の維持管理をどのように考えているのか。	(副教育長) ①現在、遮熱カーテンや冷風扇を設置するなどの対応を行っており、代替となる冷房機器のレンタルを検討している。利用者と職員の熱中症対策にも配慮しながら、一刻も早い復旧に全力で取り組みたい。 ②「公共施設個別施設計画」に基づき、必要な点検と修繕を行ってきたが、利用者に迷惑をかけている事態を重く受け止めている。空調設備の修繕については、検討を進めており、対応については議会に報告する。

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
小田 あけみ (フューチャー 四日市)	○若者の地域参画について ①中学生が部活動を通してNPO活動に関わることはできないか。 ②現在、中学生が地域の活動に関わっている例はあるか。 ③中学生が地域に出ていく活動は全ての地域で行われているか。 ④教育委員会として、今後、若者の地域参画についてどのように考えているか。	(教育長) ①橋北中学校の防災部は、NPOではなく、地域防災組織との学習を基盤に、生徒の主体性と地域の思いが重なって発足した。月1回の訓練等を通し、防災意識を高めている。 他校でも同様の取組事例はあるが、全中学校に部活動として求めるものではないと考える。 ②防災、環境保全、地域行事など多様な活動に中学生が参画している。海岸清掃や除草、外来植物駆除、祭りや福祉イベントの運営補助などの取組が行われている。生徒の意識向上に加え、地域からも評価いただいている。 ③22校全ての中学校が地域と連携した活動を実施している。地域の実情に応じた多様な取組が展開されている。 ④本市は地域資源を生かしたキャリア教育を推進している。生徒が地域に出向き、行事や防災などの活動に参画する機会が増えており、主体性や社会的自覚、課題への向き合い方が育まれている。地域からの感謝や励ましは自己肯定感や地域への誇りの醸成につながり、将来の地域参画を支える基盤となる。 今後も社会とのつながりを意識した教育活動を推進することが若者の地域参画につながると考える。

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
加納 康樹 (フューチャー 四日市)	○フリースクールとの連携の現況と今後について ①「民間施設・団体とよりよい連携を図る」ための施策は、何が講じられてきたのか。 ②教育委員会とフリースクールや民間団体、更に保護者も参加する会議体を設置し、きめ細かな意思疎通を図るべきと考えるがどうか。 ③市内小中学校の不登校児童生徒が、全てフリースクールに通ったとして、伊賀市と同様の月額2万円を所得制限無しに全員を対象に補助金を支給した場合、年間でいくらの予算が必要になると試算するのか。フリースクールの利用料に対する補助金制度を早急に創設すべきではないか。 ④よりきめ細やかな「不登校児童生徒の保護者が必要な支援につながる情報」の提供が必要なのではないか。 ⑤市内小学校への校内ふれあい教室の設置状況と今後の予定を聞かせてほしい。 ⑥ワンストップ型相談会の実施時期等々の目安用途はあるのか。	(教育長) ①今年度、新たに「フリースクール等民間施設・団体連絡会議設置要項」を策定した。また、保護者の「情報が届きにくい」という声に応える取組として、フリースクール等の強みを活かしたワンストップ型相談会を試行的に実施する。 ②現時点では連絡会議の構成メンバーではないが、保護者会の代表から個別に意見を聞いたり、市主催の保護者会「不登校をともに考えるinよっかいち」にて、保護者の思いを聞き取ったりして、保護者との対話の機会の確保に努めている。より円滑に意思疎通できるような仕組みづくりについて検討を進める。 ③令和7年速報値による本市の不登校児童生徒1,114人が全員フリースクール等に通った場合の予算は、伊賀市同様の月額で試算すると、約2億6700万円となる。また、交付実績割合に応じると、約750万円となる。県の施策の実績や効果を注視しながら、県との役割分担を明確に整理していく必要がある。誰一人取り残されない学びの保障を実現するために本市が担うべき役割について、引き続き検討していく。 ④教育委員会のHPについては、保護者の立場に立った、より分かりやすい内容への見直しを検討している。また一方で、ワンストップ型の相談会を実施し、実際に対話しながら保護者の皆様に必要な支援や情報を提供できるよう、より一層努めていく。 ⑤令和7年度以降、小学校においてもモデル校3校を設置している。小学校と中学校では、発達段階の相違から、活動内容や配慮等が異なるため、小学校の実情に合った運用について、研究を進めている。 ⑥8月の後半の日曜日に計画している。

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
加納 康樹 (フューチャー 四日市)	⑦先ほどの答弁では会議体の中に保護者に入っていて用意が無いように思うが、そのあたりいかがか。 ⑧利用料の補助金750万円であれば、早急に制度を作り、困っている保護者や家庭に補助できないのか。先行実施している自治体を研究すれば、年度中にもできると思うがいかがか。 ⑨森市長の3期目の所信表明時に調査研究を進めると聞いたが、それから1年半経っている。どのような見通しなのか。 ⑩県の条件をクリアしているフリースクール等だけでも、先行して始めるというのはいくつか。 ⑪教育委員会の目の届くところでないと教育と認めないのか。	⑦連絡会の構成メンバーについては、フリースクール等民間施設・団体連絡会議の要項を作成したので、施設団体の代表等の連絡会という形で整理したい。保護者の意見については支援団体も多く出てきているので伺っていききたい。 ⑧一番の要因は、フリースクールには公的な明確な定義が無いというところで検討しているところである。フリースクールへの補助という一つの施策だけを切り離して判断するのではなく、本市の登校サポートセンターや校内ふれあい教室の在り方も含め、不登校児童生徒の総合的な支援策の全体像を構築する中で、フリースクールへの利用料補助については、先行する県の施策の実績や成果、他自治体の動向も注視しながら、引き続き検討を進める。 ⑨毎年、フリースクール等は増えてきており、同時にそこに通う子どもたちも増えているということは、大変多様な様相になっていると言える。不登校施策全体をもう一度見直しながら、子どもの学びの場の機会、居場所の提供について、総合的に検討していきたい。第5次学校教育ビジョンも策定中なので、そのタイミングも含め、しっかりと施策を展開していきたいと考える。 ⑩県は上限額を決めて一定規定をしているが、オンラインのフリースクールについては対応していない。オンラインフリースクールも検討にいれるのかどうか、整理をかける必要がある。 ⑪補助助成については、憲法89条の規定で、公の支配に属するところの規定があるため、教育委員会の目の届くところになる。

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
加納 康樹 (フューチャー 四日市)	○教育するなら四日市、と言い続けるのなら… ①市内小中学校における非常勤講師の現状はどうか。 ②授業時間と授業以外の時間の時給設定や非常勤講師の枠を超えた新たな任用制度の導入についての見解はどうか。	(教育長) ①県任用の県費非常勤講師と市独自任用の市費非常勤講師があり、今年度当初は合わせて小学校177人、中学校120人が勤務し、年次ごとに少しずつ増加している。 背景には少人数教育や特別支援教育の充実、個別ケア対応など教育ニーズの多様化が挙げられ、非常勤講師は学校のニーズに応じて柔軟に配置でき、産休等の欠員補充も担っていることも増加の要因である。 勤務は最短週8時間、最長で18時間で、時給は所有免許状の種類等によって異なり、県費非常勤講師がやや高く、市費非常勤講師は生徒指導への対応等授業外業務も担い授業外活動として別途時給を設定している。 割合としては総勤務時間のうち平均すると授業時間が93%、授業外活動が7%であり、平均的な非常勤講師一人当たりの給与支給月額額は約14万6千円である。 ②授業時間と授業外時間で時給が異なることに加え、授業以外でも子どもに直接関わる業務が多い実態を踏まえ、処遇の見直しを検討していく。検討にあたっては社会保険の加入状況や扶養控除など非常勤講師の立場に配慮しながら、慎重に制度設計を進めていく。また、多様化する学校現場のニーズに対応できるよう新たな任用制度の検討も併せて進めるとともに、教職員がやりがいを持って健康で意欲的に働ける環境整備に努めていく。

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
谷口 周司 (新風創志会)	○市民の声をカタチに！！～今こそ、市民の生命と財産を守る対策を～ ①全国体力・運動能力、運動習慣等調査集計結果について、どのような課題認識をもっているのか。 ②本市としての体力向上の取り組みはどのようなものか。 ③教育委員会として、子どもたちの運動の環境づくりと、関係部局との連携についてどのように考えるのか。	(教育長) ①現状は、中学校は、令和7年度の体力合計点が全国や三重県の平均を上回っているが、小学校は平均値に届いていない。 本市の小学生は「50m走」における走力、「立ち幅跳び」における瞬発力、そして「ボール投げ」における投力の3種目において、全国平均を下回っており、これらが体力合計点に影響している。 理由としては、運動時間の少なさが要因の1つであると分析している。 ②各学校においては、休み時間に子どもたちがボールや遊具に触れられるようにするなど、子どもたちが日常の中で自然と体を動かす環境づくりを進め、運動時間の増加を図っている。 また、環境づくり以外の取り組みとして、本市では体育の授業そのものを充実させ、苦手な子どもも夢中になって取り組めるようにすることが、子どもの体力向上にもつながっていくと考えている。 ③子どもたちが「自然と身体を動かしたくなる環境づくり」については、学校教育の中だけで解決できない。例えば、放課後や長期休業中の運動場・体育館など学校施設の活用について、子どもたちの運動の機会が確保されるように、関係部局や地域等との連携を図っていく。

令和8年6月議会 付託議案の質問質疑に対する答弁要旨

◎議案第14号、15号 動産の取得について

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
山田 知美 (新風創志会)	○学校規模に応じた機器の選定について ①昨年度の当委員会の意見を反映されたことに感謝する。選定にあたっては児童数何人で設定したのか。	(学校教育課長) ①児童数250人以下を基準に処理能力20kg/バッチを導入することとした。
竹野 兼主 (フューチャー 四日市)	○機器の導入について ①今回ですべての小学校への導入が完了するの。 ②機器の大きさによる価格の違いはどのくらいか。	(学校教育課長) ①PFI施設管理である富田小学校、なかよし給食実施校の高花平小学校、八郷西小学校には設置の必要がないため、それ以外の34校について今回ですべて導入が完了する。 ②入札にあたっては設置工事費も含めた価格で一括で契約しているが、1台当たりの価格差は、40kgタイプが20kgタイプより1.5倍程度高い価格である。
山田 知美 (新風創志会)	①1台当たりの価格には給排水工事の金額も含まれているのか。	(学校教育課長) ①この価格に設置工事費を加えたものが入札価格となる。
上 麻理 (政友クラブ)	○導入時期について ①令和7年度整備分はいつ納入が完了したのか。 昨今の世界情勢を鑑みて業者と連携をとり確実に進めてほしい。(意見)	(学校教育課長) ①施設工事の関係で夏休み期間に整備できなかったところについては冬休み中に完了した。
竹野 兼主 (フューチャー 四日市)	○機器の耐用年数について ①耐用年数はどのくらいか。 ②子どもの数が減少する中、将来的には現在の自校方式から変更となる可能性もあるため、今後はこのような設備経費の費用面も含めた検討が必要ではないか。	(学校教育課長) ①耐用年数は8年、修理部品については15年程度対応可能と業者に確認している。 (教育長) ②学校の適正配置と併せて学校施設の整備計画を検討し、適切な時期に方針を示したい。

令和8年6月議会(予算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

◎補正予算(生成AIパイロット校事業)

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
上 麻里 (政友クラブ)	①講師の報償費の価格が安い。規定はあるのか。 ②国の事業であっても、市の規定か。	(教育推進課長) ①教育委員会の規定に沿って計上している。 ②国の費用であっても、市の規定に沿って考えている。
山田 知美 (新風創志会)	①当該議案について寄せられた市民意見についてどのようにとらえているか。 ②実証した後の指針は国が決定するのか。それとも、市として実証を基に指針を決定するのか。実証とはどのようなものか。	(教育推進課長補佐) ①たくさんの市民の方が興味をもっていただいていることについては驚いている。事業は1年目であり、まずは生成AIを知ることから始め、情報の正しさなども理解し、学習の中で使っていくという流れになる。市民が興味・関心の高いAIであることもあり、これからも国の方向を注視していく。 ②今後、国から生成AI教材が提供される。提供後、そのAI教材の実証を行い、結果を国に報告する。この事業では、市が先んじてAI教材の実証を行うわけではない。 ただ、日々の授業の中で生成AIを活用し、自分たちの学びに活かしていくという実践事例については、これから蓄積していく。
村山 繁生 (フューチャー四日市)	①指定校と協力校の違いは何か。 ②指定校以外にも共有されるのか。格差は大丈夫か。	(教育推進課長) ①指定校は、国主催の会議、研修などに必ず参加する。公開授業や報告も必須である。協力校は任意である。 ②公開授業への参加は、すべての学校が参加としている。指定校の取り組みは、各学校につないでいく。
竹野 兼主 (フューチャー四日市)	①リーディングDXの指定校は、各年度ごとに変わっていき、指定校となることで、より授業改善が進んでいくという認識でよいのか。 ②どうして今回、指定校は3校なのか。もっと積極的に指定校を増やした方がよいのか、この程度でよいという認識なのか。 ③生成AIの負の部分にも焦点を当てて、子どもたちに指導をしていかなければいけないのではないのか。	(教育推進課長補佐) ①新しい学校が手を挙げれば、指定校は変わっていき、取組の効果は広がっていく。 指定校以外の学校でも、公開授業などを通じて、助言者の助言や取り組みの内容などは共有している。 ②生成AIパイロット校については、学校の主体性を重視し募集をかけるかたちとした。その中で、今年度は3校の立候補があった。 申請だけであれば、3校を超えることも可能だが、指定校には本課の指導主事も日常的なサポートをするため、3～4校で適切ではないかと考えている。 ③生成AIが誤った情報を生成することもあることなどについては、情報活用能力として体系表に位置づけて各学校でしっかり指導していく。

令和8年6月議会(教育民生常任委員会 報告)の質問質疑に対する答弁要旨

◎図書館空調設備故障に関する状況報告について

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
竹野 兼主 (フューチャー 四日市)	①今後の対応の見通しとしてもう少し具体的に教えてほしいが、いかがか。	(副教育長) ①提言シートにより修繕予算が増額されたことで、故障個所の調査をスムーズに行うことができた。一時的な対応としては、既決予算を流用し、個別冷房機をレンタルして設置する契約を早急にしたいと考えている。抜本的な修理については、予算議案としてお示したい。
上 麻里 (政友クラブ)	①今後、他の機械で不具合が生じる可能性はないか、また確認はされているのか。	(副教育長) ①四日市市公共施設個別施設計画に基づき、保守点検等は定期的に行っており、例えば、冷温水発生機の運転操作盤や冷却水系伝熱管の取替等を行ってきた。修繕箇所等の抜本的な検討を行い、必要な予算を要求していきたい。
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	①保存されている資料等への影響はないか。	(図書館長) ①館内の各所に設置している冷風扇は、水を使用するため、決してよい環境とは言えないが、書庫内は、水を使用せず、送風運転のみとしている。
日置 記平 (政友クラブ)	①古い機器を修繕して使うのではトータルコストが高くなるのではないか。この際、新しいものに変えたらどうか。	(図書館長) ①全館の空調設備を入れ替えるには、長期休館が必要となる。博物館の空調設備を更新した際は、約半年間休館している。

令和8年6月議会(予算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

◎補正予算(図書館維持管理費)

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
上 麻里 (政友クラブ)	①今回約2100万円かけて故障部分を全て修繕するのと、全ての設備を取り換えるのでは、どの程度の価格差が生じるか試算はしたのか。 ②修繕後、再度故障して高額な追加費用がかかる懸念もある、今回全て調査したということで間違いないか。	(副教育長) ①冷温水発生機を修繕する費用と天吊り型の空調を4年リースする費用を、それぞれ見積って比較検討した。その結果、冷温水発生機の修繕における概算費用が約2100万円、空調の4年リースが約7300万円と、リースの方が割高な見積りとなったことと、天吊り型の空調では、図書館全館をカバーできないという課題があったことから、冷温水発生機の修繕で対応することとした。 ②今回は冷温水発生機を分解し検査を行い、故障箇所が高温胴であることを特定した。事業者への確認では、最も高額・長期化する高温胴以外に現時点で懸念箇所はなく、他が故障したとしても短期で修繕対応が可能との回答を得ている。
田中 徹 (市民目線の会)	①夏休みまでに、受験生をはじめとした子どもたちが勉強しやすい環境が整うのか心配である。対応作業のスケジュールを確認したいが、いかがか。	(図書館長) ①先日の教育民生常任委員会での報告後、既決予算を流用してレンタルエアコンの手続きを進めている。既に一部は稼働を開始しており、直近の作業で9割方の設置作業が完了する見込みである。
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	①冷温水発生機高温胴取替業務委託における部品の製作は事業者で行うのか。 ②10月の取り付け時期に事業者が製作したものを運び込んで作業するとのことだが、図書館内で大きな音が出たり、休館したりする必要は生じないか。 ③市民への周知を丁寧に行い、理解を得てほしい。また、本件を教訓とし、他の教育関連施設でも同様の事態がないか、同じ視点で検証や洗い出しを行い、施策を展開していただきたい。(意見)	(図書館長) ①製作は事業者が行い、現地での取り付け作業に2週間ほど期間を要する予定である。 ②冷温水発生機は屋外に設置されているため、当該作業に伴う休館は必要ないと考えている。
村山 繁生 (フューチャー四日市)	①故障時に一報がなく最終日に上程された経緯や、管内視察時にも故障の報告のみで詳細説明がなかった理由について、適切に説明すべきではないか。	(教育長) ①6月2日の管内視察時点では故障の詳細や対応方針が未定のため故障中とだけ報告した。その後、複数事業者に対応や代替策の検討を依頼したが、各見積もり等に時間を要し、18日の一般質問最終日の追加上程には間に合わなかった次第である。

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
竹野 兼主 (フューチャー 四日市)	①新図書館の完成時期が未確定な中、再度故障して費用がかかる状況を考えればリースの方が良いという考え方もできる。そのような中長期的な視点も踏まえた上で、今回の修繕という判断に至ったのか。	(副教育長) ①費用の比較に加え、機能面の課題を考慮した。リースでは書庫内の空調ができず温度が不均衡になり書籍や地域資料が傷む懸念がある。全館の空調を一定に保てる冷温水発生機を修繕し、今後は点検等リスクマネジメントを徹底することが適切な管理運営だと総合的に判断した。
上 麻里 (政友クラブ)	①レンタルしたエアコンについて、ランニングコストは通常冷房を使用している場合と同等の費用で使用可能なのか。 ②レンタルにあたって事業者からそうしたランニングコストの説明はなかったのか。 ③1か月使用後の電気代の試算が出たら、他施設の参考例としてデータを残し報告してほしい。また、現在の雨漏りも大きな事故に繋がる懸念がある。先行きが見えない中、図書館の運営だけでなくリスクマネジメントもしっかり行うよう今一度考えていただきたい。(意見)	(図書館長) ①冷温水発生機はガス式だがレンタルしたエアコンは電気を使うほか、全館をカバーできず冷風扇も併用していく。現在のところ24時間稼働させた場合の電気代の試算はできていないため、ランニングコストは不明である。 ②機種の詳細な指定はしておらず、馬力のみを指定して事業者の持っているものを導入している。そのため、最新の省エネ型かどうかも含めて電気代に関する詳細な聞き取りはできていない。
日置 記平 (政友クラブ)	①保守点検業者が入り報告書も出されている中で、なぜトラブルが起きたのか。点検や報告書のチェックはどう扱っていたのか。 ②保守点検業者が入り、その報告書をチェックしていながらなぜこのようなトラブルが起きるのか。点検内容や事業者の判断、選択に間違いがあったのではないか。	(図書館長) ①定期点検項目ではなく、別途費用を伴う詳細調査で初めて判明する箇所故障であったことが最大の要因である。故障箇所はファイバースコープ等の技術が必要な部分であるが、今後は本事例を教訓に保守点検をしっかり行えるよう努める。 ②委託している点検項目通りの点検が行われ、正常という結果を受けていた。しかし、その数日間の運転後に突然故障が発生した。今回の事象について、定期点検で完全にカバーできなかったことについては申し訳なかったと考えている。

図書館空調設備故障に関する状況報告について

現在、図書館の空調設備の冷温水発生機が故障し、図書館全館で空調設備が使用できなくなっております。図書館ご利用者の皆様、関係者の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、おわび申し上げます。故障の経緯等については、以下のとおりです。

1. 経緯及び状況

日付	内 容
5/17(日)～ 5/19(火)	冷温水発生機の異常警報が鳴動し、運転停止。保守点検業者が原因調査・復旧を試みた結果、オーバーホール（分解点検）が必要と判明。別途費用が必要とのことで見積書の提出を依頼
5/26(火)～ 5/27(水)	オーバーホール調査を実施するも、故障原因箇所の特定には更に調査が必要。資材調達のため6月1日以降にさらなる調査を実施
6/1(月)～ 6/2(火)	ヘリウムガスを用いた詳細調査を実施
現在	調査の結果、冷温水発生機の内部で真空状態を維持できない原因部分を特定。設備内の装置交換が必要と判明し、高額な費用と長期間にわたる工期が見込まれるため、代替空調設備の導入の可能性を検討中

2. これまでの空調保守点検の状況

- ・「四日市市公共施設個別施設計画」に基づき、建物や空調・配管等の設備の保守点検等を定期的に行い、必要な修繕を適宜実施

直近の修繕実績：令和4年度冷温水発生機運転操作盤及び冷却水系伝熱管取替工事

直近の点検実績：令和8年4月24日、暖房から冷房への切替時の点検で正常に稼働

3. 対策及び今後の方針

【利用者向け対策】（実施済）

- ・館内各所に温湿度計を設置し、館内の環境把握
- ・日差しが入る窓への遮熱カーテン設置、扇風機の増設
- ・市内小学校から冷風扇26台を借用し館内に設置
- ・図書館ホームページ、図書館公式X等に空調設備の故障について掲示
- ・図書館入口及び館内各所に空調故障の掲示及び館内放送による熱中症対策の注意喚起

【職員向け対策】（実施済）

- ・バックヤードへの冷風扇設置
- ・こまめな水分補給、個別空調のある部屋での休憩
- ・シフト調整により高温下での長時間連続労働を回避

【今後の方針】

- ・設置可能な場所への個別冷房機器のレンタル設置の検討
- ・工期及び経費を勘案した空調設備の復旧方法の検討

図書館維持管理費 (空調設備故障対応に要する経費)

1. 目的

5月中旬に発生した空調設備の故障に対応するため、冷温水発生機の故障部品の取替修繕を行い、空調設備の復旧を行う。また、修繕期間の対応のため、取替作業が完了するまでの間、床置型エアコンのレンタルを行う。

2. 内容

(1) 冷温水発生機高温胴取替業務委託 21,000千円

冷温水発生機の故障箇所である高温胴の取替修繕を行い、空調設備を復旧させる。

・期間：約4か月

部品製作に2～3か月程度
取替作業に約2週間

(2) エアコンレンタル 13,500千円

空調設備復旧までの臨時対応として床置型エアコンを館内に設置する。

・設置台数：図書館1～3階に計19台

・借上期間：約4か月

<参考>スケジュール

年度	令和8年度						
月	6	7	8	9	10	11	12
(1) 【長期対応】 冷温水発生機		製作			取替	復旧稼働	
(2) 【短期対応】 エアコンレンタル		レンタル					

3. 補正予算額

34,500千円

(財源内訳) 一般財源 34,500千円

図書館空調設備故障への対応について

1. 経緯及び状況

- ・5/17(日)、冷温水発生機の異常警報が鳴動し、運転停止。
- ・保守点検業者による原因調査後、オーバーホール(分解点検)調査、及び詳細調査を実施。
- ・調査の結果、冷温水発生機の内部の原因部分を特定し、設備内の装置交換が必要と判明。
- ・現在、代替空調設備の導入及び今後の方針を検討。利用者及び職員向け熱中症予防対策を実施。

2. 空調対応方法について

故障した空調設備の取替作業が完了するまでの間、図書館開館を継続するための短期対応を行う。

	短期対応(今夏)	中長期対応	
方法	レンタル(床置型空調)	冷温水発生機 高温胴取替業務委託	リース (天吊型空調)
内容	床置型 計 19 台設置 (最低限必要範囲を冷却) (課題) ・全館をカバーできない ・床置型のため、通行の支障となる ・ドア目張りなど仮設仕様 ・効きが十分ではないため、24 時間稼働が必要	冷温水発生機内の高温胴取替修繕により、現状機能を回復 (課題) ・高温胴を新たに作製することが必要	天吊型の空調設備を設置 レンタルより空調効きやすい (課題) ・全館をカバーできない(書庫内は不可) ・新たな設備を導入するため修繕より割高
空調対応期間	設置日～10 月まで (延長も検討)	業務完了後～施設閉鎖まで	設置日～施設閉鎖まで
整備期間	1 週間～10 日	約 4 か月	約 1 か月 (複数年契約のため 債務負担の設定要)
概算費用	4 か月 : 13, 420, 000 円	20, 900, 000 円	4 年リース : 73, 392, 000 円

3. 今後の対応

(1) 今夏の短期的対応

レンタルによる床置型空調の設置による臨時対応

(2) 中長期的な対応

冷温水発生機内の高温胴の取替業務委託により現行空調設備の復旧を図る